

楽々むらの心「にこにこ」「いきいき」「ゆつたり」と

楽々むらの心通信



第30号 H29.3.10 発行



こころ踊るひなまつり

事業案内

- ★ 特別養護老人ホーム (80名定員)
- ★ デイサービス (29名定員)
- ★ ケアハウス (30名定員)
- ★ グループホーム (18名定員)
- ★ 居宅支援センター

平成29年3月10日発行

社会福祉法人 あまのほ

楽々むら

(法人本部)

TEL.0796-32-0161 FAX.0796-32-0171

ホームページ/ www.amanoho.com

メールアドレス/ rakurakumura@amanoho.com

発行責任者 木谷妙子

施設長の独り言

「高齢者!?!」

老化は実は10年前より11歳若返った75歳から始まっていると言われていました。日本老年医学会では今年1月に65歳から74歳までを准高齢者、75歳から89歳を高齢者、90歳以上を超高齢者に区分することを提言しました。今は若々しい高齢者が増えてきたのだから、生産的活動に従事し、健康寿命をのばせる社会構築を目指しましょう、というメッセージのように受け止められます。

私もそろそろ今言われている“高齢者”の仲間入りをしようとしています。でも今のところ体も元気で、一人前に物忘れはあるものの、自分のイメージしている高齢者とは少し違うなあ…と感じている今日この頃です。

先日、あるうどん屋に行ったときのこと。

お客「お水下さい」

店員「お薬ですか？」

お客「はい…」

店員「ぬるめにしました。どうぞ」

私はお客さんの様子や店員さんの対応を観察する癖があり、その日もうどんを食べながら、アンテナをニョキニョキと伸ばしていました。

うどん屋に入っているお客さんはほとんどが60歳以上のおひとり様か女性同士、それと3歳以下の子どもを連れた親子です。また、店員さんの年齢はというと60歳を超えているだろうと思われる人がほとんどでした。うどんの文化はもはや高齢者と幼児のものなのだろうかと思ってしまうほど日本人の世代による食文化の変化を感じてしまいました。

それにしても「〇名様〇番にお通しします」と張りのある声で店内を動き回る彼女たちはパワフルであり、忙しい時間帯にも関わらず、お客さんへの気配りに私はとても安心感を覚えました。シニアの持つ経験や知恵、活力は貴重な社会資源です。どんどん生かさなければもったいないですね。



施設長 木谷 妙子

ランチオンマイト

嗜好品を利用して食欲回復!!

楽々むらでは、体調不良や食欲低下による食事摂取量の少ない方に対して、多職種で検討を重ねながら多様な食事提供を行っています。ご利用者の状態に合わせるため、例えばお菓子などの嗜好品を中心とした食事にして意欲向上につなげたり、補助食品を中心とした食事にする事もあります。

補助食品は種類も多く、液体・ゼリー・ムース・粉末などがあります。嚙んだり飲み込む機能に合わせ、ご利用者の好みも考慮しながら選びます。いろいろな味があるので飽きずに美味しく食べられます。ここで、あるご利用者の話を少し。

食べ物の好き嫌いが多いOさん、去年の夏頃から体調を崩して食事が入りませんでした。口に出来たのはバニラアイスと凍らせたエンシュアだけ。管理栄養士としては苦渋の選択でしたが、食事を中止しアイスとエンシュア氷をこまめに勧めることにしました。また、『私〇〇が食べたいんやん』と希望があれば、麺類・お寿司・揚げ物・たこ焼き…等も。家族さまには好みの食べ物を差し入れて頂きました。職員一丸となりご家族の協力も得ながらケアにあたり、今では食べられるまでになりました。「ご飯と味噌汁が好き」と満面の笑顔を見せてくれます。



その方にとって最も優先すべきことは何か、生きる活力を生み出すためにどう動けばいいのか。食に関わる専門職として、柔軟な考えと対応が求められているのだと感じます。ご利用者に寄り添うケア、これからも続けていきます。



日々のようす



2017年新春
もちつき大会

杵を持つ手に力が入ります!



どのおもちも、とてもおいしくつき上がりました。

寿司職人さんによる
にぎり寿司の
実演



おいしくて、箸が止まりません。



新春
スペシャルコンサート



節分

鬼は外、福は内

米寿
おめでとう



いつまでも、お元気で!

たこ焼き
ちらし寿司
づくり



生け花教室



見事な腕前です!



子どもたちがおいしいお茶を
いれてくれました。

医務だより

「まさかは突然にやって来る」

いま終活と言うことばが良く聞かれます。
残り時間を考えたとき何をしておくべきか…
誰もが悩むところです。〈家のかたづけ、遺言、葬儀の段取り…〉

その前に

自宅で最期を迎える人の数は年々増加していますが、支援体制を含め様々な課題があります。取りあえず入院、その後の選択は？

最期の日々をどう生きるか？穏やかな在宅死を望むなら準備が必要です。

まずは最後まで診てくれる主治医を近所で見つける必要があります。

次に介護ヘルパー、訪問看護も必要です。

家族でどこまでの医療を受けるのか？年齢に関係なく常に家族で話しておくことも大切です。

胃瘻のこと、延命治療のことなど意志を伝えておきましょう。



ご寄付をちょうだい
いたしました。

(平成28年11月～平成29年2月)

秋山喜美子様 川中 幸栄様
守山 道子様

ありがとう
ございました!

グループホームを紹介します。

利用定員18名



認知症状が進行し、在宅での生活に支障があって、要支援2及び要介護認定を受けた方をサポートする介護保険制度適用のユニット型入所施設です。なお、居室は全て個室です。

食事は栄養並びにご利用者の身体の状況、嗜好を考慮した食事を提供しています。また、自立支援のため離床してして食堂にて他のご利用者様と一緒に食事の時間を楽しんでいただいています。日常生活において食事、入浴、排泄、その他レクリエーション等、身体能力を最大限活用した援助を行っています。

お気軽にご相談ください。

お問合せ グループホーム楽々むら
☎0796-32-0181

お知らせ

ボランティアさん募集!

生きがいづくりと地域福祉の振興に、
貴方の余力を活かしてみませんか。

- ☆行事・事業の手伝い
 - ☆ご利用者との語らい
 - ☆窓ふき・車いすの清掃
 - ☆演芸・歌・芸術活動
 - ☆文化・趣味活動
- 団体・個人は問いません。
お気軽にご参加ください。

見学 随時
受け付けます。

お気軽にどうぞ!

連絡・お問い合わせは
楽々むら
0796-32-0161
まで



編集後記

今季は、近年にない大雪となりました。草木は、徐々に春の息吹を感じつつ、いつ新芽をだそうかと頑張っている最中かと思えます。

さて、「楽々むら」も次年度に向けて、平成28年度末ラストスパートの時期です。

少しでも、ご利用者にとって安心して利用でき暮らしやすい環境づくりを、みんなの力で構築していきたいものです。(S)

当施設は、個人情報保護法に関する法律やガイドラインを遵守し、基本方針に沿った取り組みを行っています。